

公民連携手法研究報告書

平成 27 年 7 月

内閣府経済社会総合研究所

本報告書は、平成 25 年度に内閣府経済社会総合研究所地域ユニットに設けられた「公民連携手法研究会」の内容をまとめたものである¹。

なお、個々の論文の内容に関しては、目次に記した著者が文責を有するものであり、内閣府経済社会総合研究所の公式見解ではないことに留意願いたい。

目 次

調査概要	1
はじめに 研究の趣旨・目的（館 逸志）	3
第 1 章 従来型公共図書館から公共図書館への脱皮可能性	4
1 公民連携手法による図書館運営	
1.1 武雄市の沿革	
1.2 図書館リニューアルの経緯	
1.3 連携による効果	
2 議論を巻き起こした武雄市図書館（南 学）	
2.1 図書館の「あり方」について議論を巻き起こすことの価値	
2.2 武雄市図書館のイノベーション	
2.3 「議論」から公共施設の目的を明確に	
3 公共図書館のミッションの再確認（南 学）	
3.1 画一的な日本の図書館像と表面的な数値目標	
3.2 公共図書館運営における議論の方向（韓国と米国の事例を踏まえて）	
3.3 公共図書館のサービスと設置形態の再検討も必要	
3.4 ICT 技術によって変わる図書館の管理運営	
3.5 小さな町の創意工夫（公共図書館よりも大きな学校図書室）	
4 指定管理者制度を活用した公共サービスの付加価値向上（南 学）	
4.1 指定管理者制度の出発点	
4.2 拡大してきた「民間」による管理運営の範囲	
4.3 現実的でなくなった「直営」による管理運営	
4.4 変化している図書館への需要とその対応	
4.5 指定管理者制度への理解がまだ足りない現状	
4.6 リスク分担の考え方から出発する	
4.7 「直営」対「委託・指定管理」ではなく「直営・委託」対「指定管理」	

¹ 執筆内容は第 5 章の一部を除き平成 26 年 3 月末現在による。

第2章 公的体育施設—新たな取組み-----	23
1 分析の視点 (二上 唯夫)	
2 我が国のスポーツ振興の理念と体育施設整備の現状 (二上 唯夫)	
3 複合型体育館による効率的利用の事例 (半田市総合型地域スポーツクラブ) (二上 唯夫)	
3.1 半田市スポーツ振興政策	
3.2 半田市の総合型地域スポーツクラブの展開	
3.3 複合型体育館の数値的な評価	
4 全国展開出来ない理由・課題 (力武 忠幸)	
5 これからの公的体育施設のあり方と課題 (提言) (力武 忠幸)	
第3章 生ゴミ処理事業による公民連携の事例研究—加賀市の資源循環事業について— (二上 唯夫) ---	37
1 資源循環事業の概要	
2 評価の方法	
3 評価結果	
第4章 千葉県習志野市における公共施設再生の取組～大久保地区の公共施設再編案～ (早川 誠貴) -----	42
1 習志野市の概要	
2 公共施設再生の取組の背景	
3 公共施設再生の取組経過	
4 大久保地区の公共施設再編案	
5 現在の取組及び今後の展望と評価	
第5章 地方自治体の公民連携の一層の推進に向けた課題と解決の方向性 (藤木 秀明) -----	47
1 官民の資源を最適化した公共サービスの追求の必要性	
2 社会資本の老朽化対応を契機とした地域における公民連携推進の必要性	
3 「全体最適」の視点の必要性	
3.1 政府及び地方公共団体における一元的な体制の構築	
3.2 民間資源活用の一層の推進	
3.3 取組みを支える制度設計	
おわりに 研究からの政策的インプリケーション (関 幸子) -----	53
1 武雄市図書館が可視化した民間企業マネジメントの可能性	
2 半田市の複合型スポーツクラブから見える課題	
3 自治体マネジメント白書の有効性	
4 まとめ	